**サクラソウ**

**Ryukyu marlberry / *Ardisia quinquegona* / Shishiakuchi /** シシアクチ

常緑樹林の端等に花を咲かせる低木で、多くの日本の南の島で見られる。幹の直径が5cmに達することはほとんどないが、４メートルの高さにも育つこともある。春には、集散状の白やピンクの繊細な花が垂れ下がるように咲く。食べられる小さい丸い実は、上下が若干平たく、熟すと濃い紫になり、甘みと苦みが混ざった味である。

**Great Ming marlberry / *Myrsine seguinii*** / **Taimin-tachibana** / **タイミンタチバナ**

北は千葉県から南はベトナムにまで広く分泌している常緑低木は、スダジイの木が生い茂る奄美大島でも多く見られる。幹は青みがかった灰色や茶色っぽい灰色で、紫色を帯びている。長楕円形で先端が尖っている葉は、濃い緑の表面は革質である。春に咲く集散状の小さな花は、中は薄い黄色で外側が紫。実は丸く、5mmほどの直径で、12月ごろに熟すと黒紫色になる。